

# 有害鳥獣対策の取組み

## 平群町農業委員会

### 1. 平群町の農業の概要

平群町は奈良盆地の西北部の位置にあり、西は標高400mの信貴・生駒山系で大阪府と接しており、小倉百人一首でも有名な竜田川が町の中央を南流する面積23.9km<sup>2</sup>、人口約2万人の自然豊かな町です。また、この地は古代の有力な豪族・平群氏が本拠地としたところであり、聖徳太子の創建と伝えられ国宝信貴山縁起絵巻のある信貴山朝護孫子寺や、役行者の修験地で知られている鳴川千光寺、長屋王の墓など数多くの歴史的遺産が息づいています。

町の基幹産業は農業であり、町西部の山麓部では小菊、バラ、枝ものなどの花き花木類やブドウ栽培が、竜田川の東側平坦部ではトマト、イチゴなどの果菜類が盛んに栽培されています。販売農家に占める専業農家率は34.9%と奈良県下でも特に高く、活気のある農業が展開されています。

### 2. 農業委員会の取組み

平群町では年々、拡大する有害鳥獣(主にイノシシやアライグマ)の被害から農作物を守るために、平成22年より生駒市・三郷町・平群町による信貴生駒山系鳥獣被害防止対策協議会を設立し、農業委員との連携のもと、毎年町内各地に金網獣害柵を設置しています。



防護柵設置写真



今後も鳥獣害対策として「啓発・学習」「防護」「駆除」の三原則を実施していく予定です。「啓発・学習」については、集落単位や地域単位で対象となる鳥獣の生態や防除のポイント等に関する研修会や学習会を開催し、各地域で取り組み可能なものから実践していきます。特に生息環境管理として、収穫残渣や放任果樹の除去等を徹底することで野生鳥獣の集落依存度を低下させていきます。「防護」については、集落単位や地域単位で有効な防護柵の実証展示試験等に取り組み、地域全体での効果的な防護行動が自主的に行えるように促していきます。「駆除」については、防護により防げなかった農作物への依存度が高い有害獣に対して地元猟友会と連携して実施いたします。ただ、猟友会組織においても年齢や人数等の問題もあることから、今後は被害集落内において狩猟免許の取得など捕獲者育成を促し、住民自らが駆除を行う地域ぐるみの自衛体制の確立を図っていきます。

また、外来生物法に基づくアライグマ防除実施計画のもと、適切な目標設定により計画的で効果的なアライグマの防除を進めていきます。

そして、これらの対策を総合的に講じることで、鳥獣害の軽減を図っていき、農業委員会の立場としては、農地の保護にあたっていきます。